

広島市植物公園 見どころ案内

2024年10月1日
通巻第636号

今週の
見どころ案内
掲載植物

現場にはこの表示
がしてあります。

展示会のご案内

◇展示資料館(9/14~12/22)
人の暮らしを支える『植物と油』展

◇展示温室(9/7~10/6)
薬用植物展

ヒガンバナ (ヒガンバナ科)

中国原産。秋の彼岸(秋分の日前後)に咲くのが和名の由来ですが、今年は暑い日が続き開花が遅れました。現在は園内の各所で見るすることができます。

リトープス 鳴弦玉 (ハマミズナ科)

リトープスとは「石に似た」という意味を持ち、石のような見た目、動物に食べられるのを防いでいるといわれています。

トウゴマ (トウダイグサ科)

植物油の原料植物の一つ。種子から取れる油は「ひまし油」と呼ばれ、薬(下剤)として使われるほか、工業用の潤滑油にも用いられます。

★大温室で見頃の花 アンスリウム、スパティフィラム、サガリバナ、ナンヨウザクラ、タコノキ・ピヨウタコノキ(実)、ブーゲンビリア、タッカ シャントリエリ、洋蘭各種、サンゴアナナス、シマサンゴアナナス、グズマニア、アセロラ、クルクマ、ハリコニア各種、[バナナ、カカオ、ソーセーシノキ、ゴレンシ、ユーゲニア メガアルバ、ミズレンブ、ホワイトサボテ、バナナ各種、パパイア、チューインガムノキ、クロツグ、黄金ココヤシ、パキラ、レンブ、キミノパンシロウ、コーヒーノキ(以上は実)]、カブダチクジャクヤシ、ルエリア ロンギフロラ、パキスタキス ルテア、クバノラ ドミンゲンシス、ハイビスカス、オクナ キルキー、プセウドランテマム、ヤコウボク、チャボイランシランノキ、ゴールデンチェーンツリー、コリウス、アリアケカズラ、セイロンランティア

カリガネソウ (シソ科)

東アジア原産。花の形が雁(かり)に似ているとして名付けられました。

ハナセンナ (マメ科)

黄色の可憐な花を咲かせます。ブラジル・アルゼンチンが原産で、別名はアンデスの乙女。

フジバカマ (キク科)

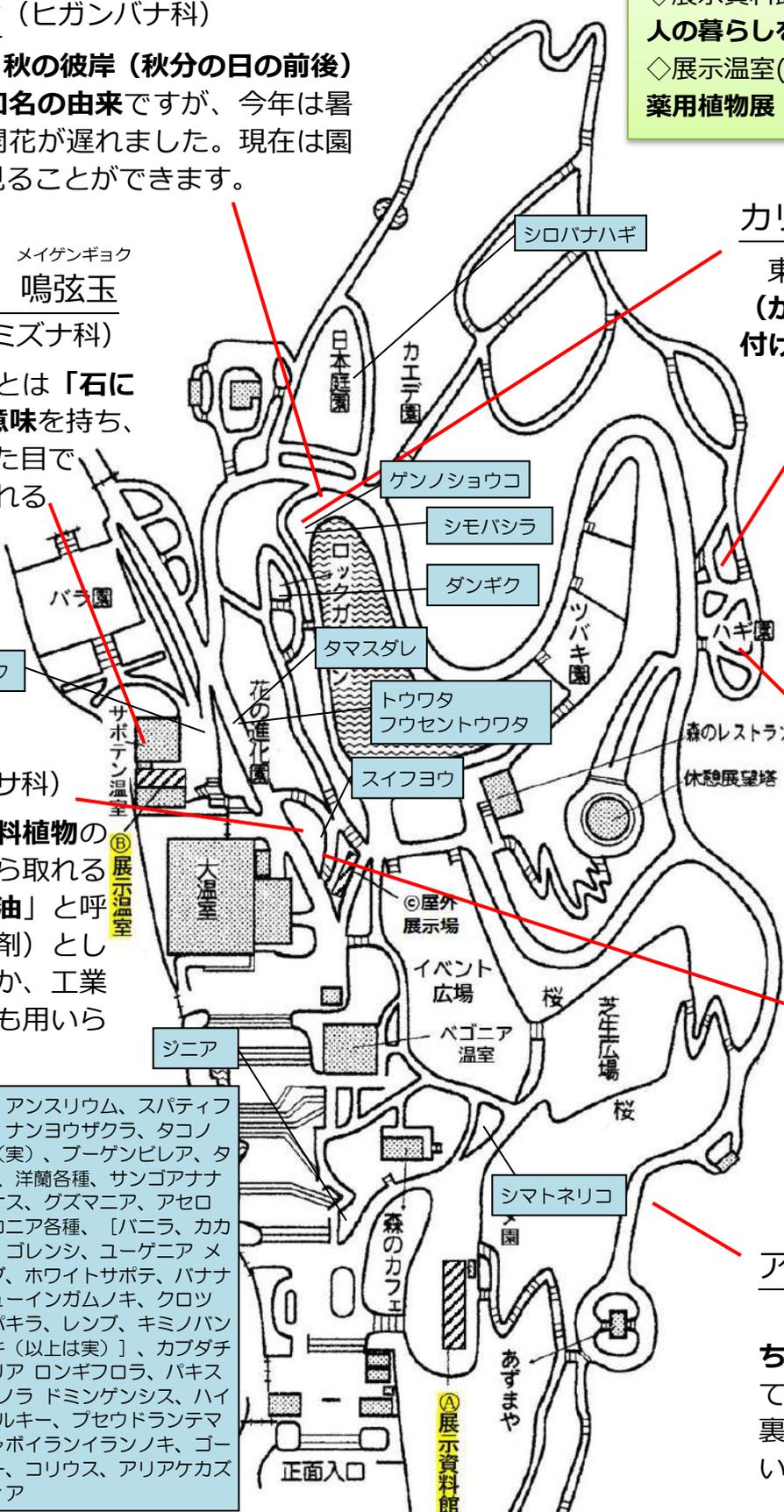
秋の七草の一つ。奈良時代に中国大陸から帰化したといわれており、アサギマダラが吸蜜に訪れることで知られています。

ワタ (アオイ科)

ワタの実が成熟しています。綿毛を織物に利用するだけでなく、種子をつぶして綿実油を取ることができます。

アベマキ (ブナ科)

丸いどんぐりが通路に落ちています。クヌギとよく似ていますが、アベマキの葉は裏が白っぽく、毛が密生しています。



❀ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ❀
❀ 10/5、10/22 午前11時~は、職員による植物うんちく語りを実施します ❀